

大学職員として日々忙しくしている私は、「現場」で起こっていることがきちんと見えているでしょうか。同僚たちは同じ「現場」をどのように見て、その先にどんな「未来」を見据えているのでしょうか。視点が変われば、同じ職場でも全く違う景色・展望が広がっているかもしれません。

シリーズ第10弾を迎える「若手職員のため大学職員論」では、自分が働く現場の文化、起こっている日々の出来事、同僚教職員の働き方を観察し、大学教職員のエスノグラフィー*として描き出すことに取り組みます。またその結果をピアレビューと対話によって俯瞰することによって、今いる「現場」をより精緻に読み解き、取り巻く環境から予想される「未来」を見通す力を磨きます。

*「エスノグラフィー」(民族誌的方法)とは、主として文化人類学を中心に開発された質的調査法であり、現在は社会学、教育学、心理学、看護学等でも盛んに用いられている。調査者自らによる参与観察等を通して、現場で生起する事象を内側から詳細に記述し分析することにより、現場に密着した知見を生み出す調査方法である。

若手職員のための大学職員論(10)

大学職員のエスノグラフィー：

「現場」を読み解き

「未来」を見通す力を身につける

2018年10月20日(土) 13:00-17:30 *情報交換会 18:30~ (会費4,000円)

東北大学川内北キャンパス 川北合同研究棟1FL IEHEラウンジ

■プログラム：

13:00-13:05 開会挨拶

杉本 和弘 (東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)

13:05-17:25 事前課題を用いてのワークショップ

川面 きよ (東北大学高度教養教育・学生支援機構 特任講師)

17:25-17:30 閉会挨拶

杉本 和弘

■対象：以下の①及び②の両方もしくはいずれかに当てはまる方

①20～30代の大学職員

②入職後10年以内の大学職員

■申込期限：2018年10月15日(月)

■定員：先着10名(定員に達し次第、申込締切)

■事前課題：このワークショップには事前課題があります。この課題を用いて、当日ワークショップを行います。課題は、受講申込後にメールにてお送りします。

参加申込み方法 HPの「イベント申込み」から申込みいただけます。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/> 東北大学高度教養教育・学生支援機構

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jpまでお申込みください。

主催 東北大学高度教養教育・学生支援機構

問合せ 東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター

TEL.022-795-4471 Fax.022-795-4749

Email. iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

